

氏名	高 越 良 明
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 3 6 号
学位授与の日付	昭和48年 3 月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	低カタラーゼ血液症の簡易検出法に関する研究 第1編 ヒト血液保存によるカタラーゼ活性度の変動について 第2編 ヒト血液凍結保存によるカタラーゼ活性度の変動について 第3編 低カタラーゼ血液症の新簡易検出法
論 文 審 査 委 員	教授 高原 滋 夫 教授 水原 舜 爾 教授 平 木 潔

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

低カタラーゼ血液症（以下低「カ」血症と略す）のスクリーニングは、無カタラーゼ血液症の発見に不可欠のものである。本論文は、そのスクリーニングで重要なヒト血液の保存によるカタラーゼ活性度（以下「カ」活性度と略す）の変動を追求した。即ち、ヒト血液の0℃～10℃、7日間保存では「カ」活性度は殆んど低下しないが、-20℃、7週間凍結保存においては約16%の「カ」活性度の低下を示した。

次に、Gagnon, M. らのpaper diskによる「カ」活性度の測定法を改変して低「カ」血症の新簡易検出法Floating Disk Methodを考案した。この法による低「カ」血症のスクリーニング・レベルは沈降距離12.5cm, 浮上時間13.5secである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、カタラーゼ活性度の変動を追求し、0℃～10℃、7日間保存では殆んど低下せず、-20℃、7週間凍結保存では約16%の活性度の低下を示すことを記述し、次にGagnon, M. らのpaper diskによる測定法を改変して低カタラーゼ血症の新簡易検出法floating disk methodを考案した。よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。